

西インド諸島大学外国語・文学学科に在外公館長表彰（日本語普及）を実施

6月17日、中野大使は、西インド諸島大学（UWI）モナ校において行われた日本語スピーチ大会の席上、ジャマイカにおいて長年日本語教育を行っている同大学モナ校人文教育学部外国語・文学学科に対し、在外公館長表彰を実施しました。本表彰は去る6月3日の生け花インターナショナル・セントアンドリュー支部に対する表彰に続いて、ジャマイカでは3回目の表彰となります。

今回受賞したUWI外国語・文学学科は、日本語コースを1994年に開始後、1996年にそれまでの無単位から単位が取得できるコースとし、その後、日本語学習を希望する学生数の増加を踏まえ、2014年には日本語を副専攻科目として指定しました。また、日本語学習への意欲を高めるため、日本大使館と協力しつつ、2000年に日本語スピーチ大会を導入したほか、学生が日本文化を共に学ぶために発足させた「日本クラブ」を積極的に支援するなど、日本語や日本文化の普及のために尽力をしてきました。現在、UWIでは1年間を通じて約150名の学生が日本語を履修しています。

表彰式は、スピーチ大会終了後、中野大使よりUWI外国語・文学学科のこれまでの貢献に敬意と謝意を表明し、同学科のポーレット・ラムゼイ学科長に表彰状と副賞を手渡しました。

なお、同日行われた日本語スピーチ大会では、「私の大切な人」というテーマについて、8人のUWI日本語専攻学生から発表が行われました。



(左) (左から) 飯島UWI日本語講師、ラムゼイUWI外国語・文学学科学科長、中野大使

(右) ラムゼイUWI外国語・文学学科学科長と中野大使



会場の模様



発表する出場者(1)



発表する出場者（2）



優勝者への表彰



出場者、UWI 日本語講師とともに